

平成 25 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子工業高等学校
学校長 安藤 順一

評価日	平成 26 年 3 月 17 日 (月)	
評価・提言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>○本校の自己評価表は評価基準を数値目標という形で具体的に設定し、それに対する到達度で評価を決定するよう計画されており、重点目標毎に評価結果について説明した。学校関係者評価委員からの主な意見・質問等は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【「工業高校らしいエチケット・マナーの育成」に関して】身だしなみについては米工生は最近良くなったという声をよく聞くので、もっと良い評価でもよいのではないか。 ・【「キャリア教育による進路実現」に関して】就職先は大変良いが、県外が多いか。また、離職等の状況はどうか。 ・【「心の教育の推進と部活動・生徒会活動の推進」に関して】部活動でたいへんな成果が挙げられたと思う。新聞紙上でも多く取り上げられてよかったと思う。来年度も良い成果を挙げてくれることを期待している。 ・【「開かれた学校づくり」に関して】博労町4丁目には啓成小学校と米子工業高校があり、文教地区である。最近運動会へも苦情を言われる方がある。自治会の会則に学校への協力に関する記述を加えておき、町内へ転入して来られる方には最初から言っておかなければならないと考えている。 <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年3月末日までに本校HPに公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動発生件数を指標とした評価基準を設定したためこのような評価結果になった。今後は評価基準そのものの見直しを検討すべきと考えている。 ・就職率は100%で、一次応募で73%と県内ではトップの好成績を収めている。その内、約80%が地元就職である。地元とは鳥根県東部も含んでおり、鳥取県西部が50数%、鳥根県東部が20数%である。3年後の離職率は9%程度で非常に低い。離職するのは工業系以外のサービス業に就職したケースが多い。 	
<p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>「平成25年度学校独自事業執行状況一覧表」を資料として配布し、各事業の執行状況について説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゴミストッカーの製作」など地域に還元できる取組は積極的に行ってほしい旨の指摘をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たいへんありがたいことである。学校へ苦情を寄せられるのは特定の方で、おおむね地域の皆様のご理解ご協力はいただけていると思う。今後ともよろしくお願いしたい。 	
<p>3. 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業高校らしいたいへん良い取組をしておられるので、さまざまな機会を利用して地域の皆さんへPRしてはどうかというご意見をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献のあり方や地域へのPR方法については、改めて検討してみたい。 	